

タイトル	母校に行って思ったこと		402
学校名	新庄市立八向中学校	氏名	五十嵐 莉乃

私の母校は、小規模で、少人数の学校でした。正直、少人数の学校が嫌いでした。そんな母校に私は、職場体験に行きました。

教師の仕事内容は、役職によって仕事が変わりました。学年の先生は、主に授業を行って、事務の方は、学校関係のものを取り入れて、養護教諭の先生は、みんなの健康に関するお仕事をしていました。

私は、教師はものすごく楽しいものだと思っていました。実際に体験してみると、思っていたものとは真逆で、子供と関わることはとても難しく、特に新入生は心を開いてくれるまで時間がかかって大変でした。授業を一緒に行って、先生はものすごく素晴らしい存在だと改めて思いました。授業で、私は子供たちに質問をされました。わかりやすく教えることは、難しかったです。先生方は、わかりやすく教えてくれていると感じ、ありがたみを感じました。先生の中でもコミュニケーションをとっていて、仲間と話すことは、とても大切だと思いました。

仕事のやりがい考えたとき、教師は、子供の笑顔を見られることが仕事のやりがいなのだと感じました。授業で、できなかったことができた子供は、とても笑顔でした。私は、嬉しくなりました。これが、教師のやりがいだと思いました。また、少人数ならではのアットホームさが少人数学校のいいところだと思いました。私は、母校がとても好きになりました。そして、また行きたいと思いました。

私は将来、地域の方や、家族、友達を元気づけられる存在になりたいです。なぜなら、私も、周りにいるみんなも元気になれるからです。これから、みんなの前で明るく振舞って、勉強を頑張って、将来は教育関係の仕事に就きたいです。